

ペア碁世界大会本戦に出場

▶京都のブロック予選で優勝し本戦出場を決めた岸君・石田さんペア



岸君・石田さんペア



野口君・湯地さんペア

▶大阪のブロック大会で優勝し本戦出場を決めた野口君・湯地さんペア

ペア碁とは、男女でペアを組み、相談などはせず交互に打っていく競技だ。この大会の本戦は日本各地で行われたブロック予選の優勝ペアと推薦された生徒が進むことができ、海外からも21か国の代表が集まる。本校囲碁

12月1日・2日に東京のホテルメトロポリタンエドモンドで行われる国際アマチュア・ペア囲碁選手権大会本戦に、石田梨紗さん(2-3)・岸祐一郎君(1-8)ペアと野口悠星君(2-5)・湯地恵美梨さん(1-7)ペアがブロック予選を勝ち抜き出場を決めた。

大会に向けて岸君は「パートナーにわかりやすい手を心がけたい。外国の人とペア碁ができることがとても楽しみだ。いろんな国の人との交流を楽しみたい」と意欲を見せ、石田さんは「ペアの岸君は強

とメッセージを送られた。

この大会では各国の出場者がそれぞれの国特有の衣装を着て出場する。パーティーが開かれたり、ベストドレッシングの表彰があったりするなど、各国の出場者と交流を深める場も多く用意されているそう。坂本先生は出場する生徒に「世界中で囲碁が行われているということを実感できる機会なので、良い勉強になると思う。この大会がきっかけで他国に友人ができた生徒もいる。会場では英語や中国語、韓国語などが話されている。通訳案内士はいるが、ぜひ英語を使って交流してほしい」とメッセージを送られた。

いので頑張っているという、気持ちを強くもって自分らしくのびのびと打ちたい。大会まで時間があるのでそれまでに実力をつけ、打つことを楽しめるようにしたい」と意気込んだ。また野口君は「世界大会という大きな大会なので、パートナーにわかりやすい手を打ってとりあえず二勝はしたい。世界大会に出るのは初めてなので緊張しているが、出場できてとてもうれし」と微笑み、湯地さんは「一回でも多く勝てるように頑張りたい。囲碁ができる外国の人と交流をする減多にない機会なので、交流を大事にしたい」と語気を強めた。



◀左から湯地さん、石田さん、野口君、岸君



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部
彦根市金亀町4番7号